

多文化共生フォーラムあいち 2010

多様化する日本社会の中で前向きに力強く生きる外国人の姿を月刊「日本語」に1年半以上連載するとともに、日本からもブラジル人コミュニティからも見えない存在になっている在日日系人の実相を描いた労作ルポ『移民還流—南米から帰ってくる日系人たち』の著者である杉山春氏が基調講演を行います。

また、基調講演の後、杉山氏が進行役となって、豊田市の集住地域である保見団地に暮らす外国籍の大学生、名古屋市で外国人支援を行うNPOの代表者、外国人県民あいち会議の代表者の方たちと一緒に、日本人も外国人も共に夢を持って生きていくにはどうしたらいいかを考えます。

合わせて、多文化共生のために長年ご尽力された功労者の表彰と、小・中学生から募集した「多文化共生作文コンクール」の優秀作品の紹介も行います。

日本人と外国人 が共に夢を持って 生きるには

日時 2010年11月28日(日) 13:00~16:00
場所 ウィルあいち 3階 大会議室
定員 250名(先着順/入場無料)
申込 はがき、電話、FAX、電子メールなどにより、11月25日(木)までに申し込んでください。

主催 愛知県 **後援** 内閣府、総務省

<申込先・問合せ先>

〒460-8501(住所不要) 愛知県多文化共生推進室
電話 052-954-6138 FAX 052-951-2590
E-mail tabunka@pref.aichi.lg.jp

*件名を「多文化共生フォーラム」とし、名前、所属、電話番号を明記してください。

プログラム (プログラムは一部変更となる場合があります。)

- 1 主催者あいさつ
- 2 功労者表彰・作文コンクール優秀作品表彰
(1) 多文化共生推進功労者表彰
(2) 多文化共生作文コンクール優秀作品表彰
- 3 多文化共生作文コンクール優秀作品朗読
- 4 基調講演
『夢を持っている外国人・夢を持ってない外国人
～取材を通して感じたこと～』 杉山春氏
<杉山氏のプロフィールは裏面>
- 5 座談会
『日本人と外国人が共に夢を持って生きるには』
進行: 杉山春氏
箱崎カリン氏
豊田市保見団地在住の大学生。10歳の時にブラジルから来日
川口祐有子氏
名古屋市港区の外国人放課後学習支援教室
「NPOまなびや@KYUBAN」代表
村上アリセ氏
外国人県民あいち会議代表。東浦町役場等の外国人相談員。日系ブラジル3世

詳細は

<http://www.pref.aichi.jp/kokusai/tabunka.html>



杉山春氏プロフィール

1958年東京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。雑誌編集者を経て、フリーライターに。著書に、『ネグレクト 育児放棄—真奈ちゃんはなぜ死んだか—』（小学館。第十一回小学館ノンフィクション大賞受賞作）、『移民還流—南米から帰ってくる日系人たち』などがある。

『移民還流—南米から帰ってくる日系人たち』（新潮社）平成20年11月発行

現在、日本に暮らすブラジル人は約30万人。ペルーも加えた南米出身の外国人登録者数は37万人を超え、中国人や在日韓国・朝鮮人に続く三番目のエスニック集団を形成している。彼らの大半が日系人だが、日本人社会との交流は希薄である。日本からもブラジル人コミュニティからも見えない存在になっている彼らの実相を描く労作ルポ。

連載「The view of frontiers ニッポンに暮らす」（月刊『日本語』アルク）

多様化する日本社会の中で、前向きに力強く生きる外国人。輝きを見せる彼らの本音に迫る。平成21年4月から毎月連載。



会場案内



地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分
名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分
市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分
(公共交通機関をご利用ください)

参加申込書

氏名	
所属	
電話番号	

※ ファックス、郵送などによりお申込みください。

※ お申込みを受け付けた旨の連絡はいたしません。定員を超えた後にお申込みがあった場合は連絡いたしますので、ご了承ください。

※ 今回の申込された情報に関しては、本フォーラムの運営にあたって利用するものであり、この個人情報、本人の了解なしには第三者に公開することはありません。